

平成27年度 学校評価 千葉県立大多喜高等学校 平成27年11月28日

A：目標を上回って達成できた

B：目標をおおむね達成できた

C：目標をやや下回った

D：目標を大きく下回った

重点目標	目標達成のための具体的な取組と成果（主たるもの） （重複の重点目標にまたがるものは、再提示しない）	評価の根拠（主たるもの） （アンケートより・重複するものは不再提示）	肯定意見 （%）	自己評価	学校関係者評価
1 心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業を年35時間実施し、1回の授業公開を開催（地域の小中学校への授業参観）</li> <li>・「豊かな心の育成」の時間を年2回実施（駒沢女子大学 千葉 公慈教授 保護者公開 芸術鑑賞会「演劇エディ」（保護者公開）、グローバル人材育成講演会（「元海外青年協力隊 ブータン派遣 関 健作氏」）</li> </ul>	<p>①私は、大多喜高校に入学してよかったと思う。</p> <p>②私は、大多喜高校に入学させてよかったと思う。</p> <p>③私は、大多喜高校での仕事にやりがいを感じている。</p> <p>④学校の教育活動全般について保護者はよく理解しており、職員は信頼されている。</p>	<p>生徒 81.0%</p> <p>保護者 72.0%</p> <p>職員 91.9%</p> <p>職員 94.6%</p>	B	B
2 安全安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の点検、生徒対象防災教育・避難訓練、バイク安全指導、自転車点検、交通安全街頭指導等、年7回の大掃除、いじめ対策委員会会議（現2回の実施）</li> <li>・定期健康・修学旅行事前・マラソン大会事前各健康診断、保健講話（性教育）、1年生緊急対応教育、疾病異常生徒個別指導、熱中症予防対策、水質・環境・薬品補充点検、AED点検、避難訓練救急準備、食中毒予防、教室照度・空気・検査器具点検、（熱中症等による入院、交通事故者 11/29 現在 0人）</li> <li>・モラルアップ委員会主催年4回の職員不祥事防止研修を含む全10回の職員研修を行い、そのうち1回は追加研修として外部講師による職員対象人権教育研修</li> </ul>	<p>⑤大多喜高校は、生徒の安全や健康の管理に積極的に取り組んでいる。</p> <p>⑥大多喜高校は、清掃が行き届いておりきれいな学校である。</p> <p>⑦特別活動や部活動時の危機管理体制はきちんと構築されている。</p>	<p>生徒 85.0%</p> <p>保護者 62.0%</p> <p>職員 100%</p> <p>生徒 86.0%</p> <p>保護者 66.0%</p> <p>職員 94.5%</p> <p>職員 97.3%</p>	A	A
3 基礎学力の定着・向上及び個に応じた指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の管理職による授業観察と助言、指導課訪問の活用(国語・数学・道徳教育)、年3回の授業公開(含「授業練磨の日」)の実施(参観者数 昨年0名 今年8名)、ミニ集会時授業参観者数(昨年71名 今年62名)</li> <li>・1・2年生対象夏期勉強合宿(8講座延べ68時間)及び1学期進学課外(7講座延べ70.5時間)、夏期実力養成講座(10講座延べ66.5時間)、夏期進学課外(10講座延べ136時間)、秋季進学課外(7講座)の実施</li> <li>・業者テストを活用した授業の実施</li> <li>・1年生対象年7回の業者模試、2年生対象年9回の業者模試、3年生対象年22回の業者模試の実施</li> <li>・各教科別日常補習の実施及び生徒個人別科目指導の実施</li> <li>・長期休業中の計画的な図書館利用の推進</li> <li>・担任による個人レベルの学習面談の常時実施</li> </ul>	<p>⑧大多喜高校の先生は、工夫したわかりやすい授業をしている。</p> <p>⑨大多喜高校の先生は、生徒の学力向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>⑩大多喜高校では、（個に応じた）学習の遅れがちな生徒の指導も十分に行われている。</p> <p>⑪私は、家庭で授業の予習・復習をしている。</p> <p>⑫授業は、家庭学習の習慣化のため、工夫されて行われている。</p> <p>⑬私は、授業をとおして、自分に力がついてきたと思う。</p>	<p>生徒 81.0%</p> <p>保護者 49.0%</p> <p>職員 94.5%</p> <p>生徒 85.0%</p> <p>保護者 66.0%</p> <p>職員 83.8%</p> <p>保護者 36.0%</p> <p>職員 75.6%</p> <p>生徒 45.0%</p> <p>職員 81.1%</p> <p>生徒 89.3%</p>	B	B
4 全職員の生徒理解に基づいた生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の服装・頭髪・登校指導及び各学年主導の服装指導の実施</li> <li>・美術部の全国高等学校総合文化祭への8年連続（女子2名）の作品出展</li> <li>・剣道部女子個人 インターハイ及び国体に出場/ 吹奏楽部東関東大会出場/ 陸上部女子関東選手権大会 400m ハードル出場</li> <li>・道徳教育職員研修の実施（外部講師）</li> <li>・あいさつ及び礼儀正しい言葉使いの励行</li> </ul>	<p>⑭大多喜高校は、服装・遅刻指導などの指導がきちんとなされている。</p> <p>⑮大多喜高校は、社会の基本的なルールやマナーを守って生活している。</p> <p>⑯大多喜高校は、生徒の悩みや相談に親身になって対応してくれる。</p>	<p>生徒 90.0%</p> <p>保護者 75.0%</p> <p>生徒 92.0%</p> <p>保護者 76.0%</p> <p>職員 100%</p> <p>生徒 82.0%</p> <p>保護者 46.0%</p>	A	A
5 キャリア意識を向上させ、主体的で意欲的な進路選択ができる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関（昨34名 今17名）や町立図書館(昨9名 今12名)での仕事体験の実施</li> <li>・職場体験 町行政13名、福祉体験19名、県行政12名、い鉄アテンダント4名</li> <li>・年3回職員進路説明会の実施、企業訪問、公務員等模試の実施、面接指導等</li> <li>・大学出前授業、保護者進路説明会、進路講演会（ライセンスアカデミー高野亜希子氏）</li> </ul>	<p>⑰大多喜高校は、生徒の進路目標達成に向け、適切な指導を行っている。</p>	<p>生徒 90.0%</p> <p>保護者 64.0%</p> <p>職員 94.6%</p>	A	A
6 地域とともに歩む学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標、体罰・セクハラ等相談窓口の周知、PTAだより、保健だより、図書だより、進路通信の発刊、HPの更新（11/26 現在 30回超）</li> <li>・マンドリンギター部 い鉄マンドリンギター列車(6/7)・地元老人ホーム訪問演奏「ひるどき情報ちば」（NHKFM6/5）、三育学院大学演奏会11/1(日)、さくら祭</li> <li>・吹奏楽部「お城まつり」等地域イベント参加、地域幼・小・中との交流</li> <li>・美術部「田園の美術館」での単独展覧会</li> <li>・生徒サマースクール学習支援 土睦小(昨12名 今11名)・一宮小(昨12名 今8名)・東浪見小(昨16名 今20名)・瑞沢小(昨3名 今5名)（総勢44名）</li> <li>・茶道部 大多喜城（さくら祭・お城まつり）参加、中央博物館展 参加</li> <li>・大多喜小とのサッカー交流 8/19 付千葉日報掲載「地域の歴史が学校に」11/7 読売</li> <li>・高特別授業 長南町立西小学校 森田圭一教諭と生徒文化財紹介（11/18 千葉日報）</li> <li>・いすみ鉄道対策委員会による い鉄支援活動（月1回の駅清掃等）</li> </ul>	<p>⑱大多喜高校の職員は、PTA活動に協力的である。</p> <p>⑲地域住民や保護者に対して、説明責任を果たそうと努めている</p> <p>⑳大多喜高校では、学校行事・部活動等で特色ある教育活動が行われている。</p>	<p>保護者 50.0%</p> <p>保護者 51.0%</p> <p>職員 100%</p> <p>生徒 71.0%</p> <p>保護者 65.0%</p> <p>職員 100%</p>	C	B

## 【平成27年度学校評価に係る開かれた学校づくり委員会委員の意見】

《活動の全体をとおして》

- ・中学生の意見に「もっと交流を」とあったが、卒業生に来てもらって高校の話をして欲しい。マンドリン・ギター部や吹奏楽部等，部活動の交流が欲しい。野球部も体力づくりの方法を教えて欲しい。いろいろな活動があり感心するが，もっとアピールして欲しい。地域に対して，夷隅郡市で回覧をしているのか。

- ・地域の活性化について，明善祭（学校文化祭）において中高生でプレゼンテーションをして欲しい。

《学校評価について》

表3―⑩について：学習の遅れがちな生徒の指導も十分に行っているか。

- ・学校側：現在は個々に応じた学習指導はしているが，教科の職員に任されている状況である。
- ・委員側：保護者の数値が低い。「(よくわからなくて) 答えられない」と回答した保護者の数も多いようだが，学力低下のサインが数値に隠れているかもしれない。(委員会側で) CからBに直すのであればコメントを付けて欲しい。
- ・学校側：(漢字，英単語・英語法，数学など) 小テスト等でエンドレスで鍛えているが，関係職員間で原因を突き詰め，共通理解を図っているわけではない。今後の課題である。

表3―⑪について

- ・委員側：生徒の数値が低い。半数を割る生徒が勉強していないと自分で認めている。学校はどう思うか。
- ・学校側：宿題を出していればいいわけではない。生徒には，本当にやらせたいという教師側の気持ちが伝わるのが大事であり，家庭学習の方法も具体的に指導する必要がある。今後の課題である。

表4―⑫について

- ・学校側：保護者の数値は高くないが，実際に相談を受けている生徒の意見である82%を受け，Bとした。
- ・委員側：高い評価であると思われるが，なぜAではないのか。
- ・学校側：学校側では，85%以上の評価をAと考えている。

表6―⑬について

- ・委員側：PTA活動は一般の保護者にはわかりづらい部分もあるだろうが，50%の数値は低くはない。CをBにしてよいと考える。

表6―⑭について

- ・委員側：質問文の中に「説明責任」という文言があるが，この言葉は難しくてわかりづらい。もっとわかりやすい言葉に変更した方がよい。
- ・学校側：検討対象としたい。